

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 6年次生 細川 真希

## 1. はじめに

この度、国際交流基金助成金の援助を受け、台湾(Taoyuan)の Chang Gung University Campus において開催された、The 7<sup>th</sup> Asian Particle Technology Symposium (APT 2017) に参加し、自身の研究成果を発表したので、これを報告します。

## 2. 学会について

The 7<sup>th</sup> Asian Particle Technology Symposium (APT 2017)のテーマは、「伝統産業と新興産業の先端粒子技術」です。このシンポジウムは、アジア太平洋諸国および世界各地の学術・工学学会と、粒子技術に関する専門知識を共有するためのものです。



写真1. APT会場入り口

## 3. 学会の様子

学会には、7月30日の Welcome Reception から参加しました。海外の参加者とも話す機会が多くありました。海外の方はとても友好的だったことが、印象に残っています。学会の参加者、スタッフ、滞在していたホテルに住んでいる方が話しかけてくれ、お互いの国の文化などについて話すことができました。多くの方が日本のことを好きだと言ってくれ、嬉しく思いました。特に、台湾では日本のテレビ番組が放送されている事があるようで、それを見て日本語を学んでいる人が多いようでした。

#### 4. 発表について

発表は、口頭発表とポスター発表があり、口頭発表は写真2のようなホールで行われました。発表はすべて英語で行われるので理解できるか不安でしたが、要旨を読み、スライドを見ることで、ある程度内容を把握することができました。しかし、分からなかった部分も多く、自分の語学力の不足を感じました。

ポスター発表は、写真のような会場で行われました。何人かの方に質問をして頂きました。拙い英語ではありましたが、質問に答えることができ、とてもよい経験になりました。しかし、英語での質問を理解しきれなかった場面もあり、ここでも語学力の不足を実感しました。



写真2. 口頭発表の会場

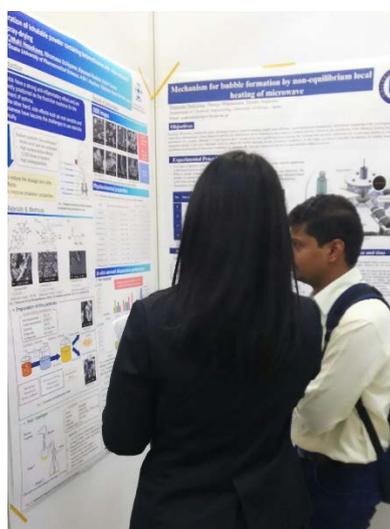


写真3. ポスター発表での様子

#### 5. おわりに

今回、国際交流基金の助成により、台湾で開催された The 7<sup>th</sup> Asian Particle Technology Symposium (APT 2017) に参加させて頂く事ができ、非常に貴重な経験をさせて頂きました。この経験を活かし、今後は海外の方と積極的に交流を持ち、より広い視野を持って、多くのことを経験していきたいと思えます。

最後に、このような機会を与えてくださった、戸塚裕一教授およびご支援頂いた多くの方々に心からの感謝を表し、報告とさせていただきます。